

1．はじめに

昨年は能登半島地震や中越沖地震等の自然災害が発生し、今なお仮設住宅に居住されている方が大勢おられます。

災害が発生した直後は、住民のコミュニティがあるかないか、強いかそうでないかで生死が分かると云ったことが、災害が発生する度に声高に叫ばれています。

そしてまた、体育館や公民館、あるいは仮設住宅などの避難所生活では、疲労困憊の極みの中にあって、住民相互の強く結ばれた絆が生きる希望につながる、とも言われています。

こうしたことを十分理解はしていても、平穏な日常生活を営んでいる私たちにとっては、対岸で起きた火事を見ているような、切迫感に乏しい心理状態にあるのではないのでしょうか。

しかし、皆さん！ 災害は忘れた頃にやってくるのではありません。時も場所も選ばず突然発生するのです。

防災問題もさりながら、防犯、高齢化、地域連帯感の喪失等々の諸問題の対策といえば、コミュニティの強化対策そのものであり、地域自らが真剣に考え、そして直ちに行動を開始しなければならない切実な問題なのです。

2．町会を取り巻く社会情勢と活動の課題

町会は前述の観点を重視して一昨年から、「向こう三軒両隣の復活する街づくり」にチャレンジする活動目標を設定して、足早に様々な試みを実施してきました。

ちゃりんこ・わんわんパトロール隊の立ち上げのほか、外部に頼らないパソコン講習会の実施とネットサークルの立ち上げ、町会業務のIT化導入、有志による悠々サロンの適時打的な創設、集会所改築プロジェクトの立ち上げ、町会運営費増収対策を目的とした納税協力会加入促進キャンペーン、町会ホームページの立ち上げによる町会活動全般に関わる情報公開等、千坂地区では比類のない諸施策を矢継ぎ早に展開してまいりました。

これらの施策は、多くの皆様からの賛同と協力を得て、その効果が徐々に顕在化してまいりました。

その一つを例にあげるとすれば、高齢者のコミュニティ促進を目的として創設された悠々サロンは、着実に実績を積み重ねており、参加者の皆さんはもとより、社会福祉関係者や他地域から高い評価を得て、注目されるまでに成長しているところであります。

その一方、昨年3月に福寿会会長の辞任意向が引き金となって、組織解散の危機的局面に陥りました。町会としては看過できない大きな問題と捉え、福寿会役員の方々のほか、悠々サロン代表も加わり組織存続について協議し、町会長が顧問、悠々サロン代表が副会長に就任する条件で、儘田会長の後任として小谷内さんに福寿会会長を引き受けていただき、諸行事の参加者も増加に転じて安定した組織に復旧してまいりました。

福寿会では昨年より、支え合い・助け合いの地域づくりの活動を導入して、南小公園の花壇の手入れもやっていただくようになりました。

地域全般的な問題として、昨年はマルハンの開発計画が浮上し、地域に及ぼす影響が極めて大きいと考えられたことから、行政の指導と支援を仰ぎながら開発事業者と対峙し、粘り強く折衝を重ねた結果、施設計画について概ね町会の要望を反映させることができました。しかし、店舗規模が破格の大きさであり、その営業開始に伴い、地域内に不特定多数の車両や人物の入り込みが激増すると見込まれ、防犯問題が懸念されるようになっております。

これに関連し、昨年に防犯活動に関するアンケート調査を実施し、その結果を踏まえ、今後パトロール隊員を募集し、当番制で学童の登下校時安全パトロール実施に向けて検討を進めているところであります。

このほか、平成4年から開始された集会所改築に係る積立について、その累積額が2,300万円を確保されたことから、改築プロジェクト検討委員会を立ち上げ、4回の検討委員会を経て平成21年度末完成の見通しが具体化したところとなっております。

3. 活動方針

町会活動の課題と社会情勢等に鑑み、昨年度に引き続き住民間のコミュニティ強化の取り組みを承継し、次のとおり実施するものとします。

・コミュニティの強化

地域が直面する問題を町会が的確に把握し、適切に対処するためには、班長と連絡を密に行う必要があるため、拡大役員会を年6回以上開催する

各担当部長（副会長）は、所属する班長と担当業務の執行方法を協議し、町会業務の円滑化と効率化を図る

町会だよりの記事の充実と発行回数増

町会ホームページの更新頻度を増やし、町会活動の情報を全て公開し、意見をメール等で聞きながら町会活動に速やかに反映させる

役員、班長の業務連絡は、可能な限り電子メールを活用する

・町会の横の組織の創設誘導と、既存の組織との連携強化

全世代参加行事の実施

・餅つき大会等（福寿会・青年部・子供会・悠々サロン・ネットサークル共催）

高齢者参加行事の実施

・子供とのふれあい事業（福寿会・悠々サロン共催）

青年部等の組織強化策の実施

・公民館、町会連合会主催の各種町会対抗競技大会に積極的な参加を呼びかけ、その機会に会員勧誘を行う

・休眠状態となっている壮年部組織の再生誘導を図る

福寿会の地域社会貢献を要請

・現役時代のノウハウを生かせる活動で地域貢献を期待

・支え合い、助け合いの地域づくりの協力を要請

・福寿会会員募集を支援

情報化社会の対応策をネットサークルに要請

- ・月2回の定例会継続、初心者パソコン講習会の実施
- ・会員加入募集を支援
- ・高齢者支援策を強化促進

悠々サロンが実施する高齢者の社会交流促進を支援

- ・町会役員やネットサークル会員が、開催時のパソコン及び視聴覚機器類操作を支援
- ・各種案内文書を町会回覧物として取り扱う
- ・健康クラブの活動（毎週水曜日実施）を支援
- ・活動補助金を交付

同好会サークルの結成を誘導

- ・町会ホームページに趣味のコーナーを設け、同好会発足の動機づくりを提供
- ・集会所改築後の積極的な利用を考慮した各種クラブなどの創設を誘導

自主防災組織の見直し

- ・非常時の速やかな対応が可能な組織づくり
（役員、班長の役割分担と非常時の連絡体制を明確化）

自主防犯組織の強化

- ・防犯活動に関するアンケート調査結果を踏まえた、ちさか地域安全パトロール隊の組織強化、ちゃりんこ・わんわんパトロール隊の連携とボランティア募集による組織強化
 - ・町会から千坂校下防犯委員会の役員を派遣する
- 校下婦人会との連携強化
- ・昨年に引き続き、婦人会連絡員を置く
 - ・婦人会関係文書類を町会回覧物として取り扱う
 - ・れんこん学級の参加を奨励

・ 集会所改築プロジェクトの促進

設計業務委託、行政との事前協議を精力的に推進する
時代にマッチした施設整備を図るため、協賛金募集を検討する
検討委員会を年3回開催する

・ 地域活動のリーダー的人材の育成

町会に関連する組織のリーダーと連絡会を随時開催し、町会行事の円滑な執行のため協力体制を築く
団塊世代に対して、各種行事の積極的な参加を促し、会社人間から社会人間への転換意識改革を図る
文化・芸能分野の優れた人材の掘り起こしと地域社会への貢献を啓蒙する
男女共同参画社会の実現と町会運営の活性化を促進するため、女性が貢献できる機会と場を設ける

以上の施策を積極的に展開し、地域のコミュニティ強化により「向こう三軒両隣の復活する街づくり」を皆さんと共に取り組みます。